



K.G.H. REVIEW

発行 関西学院高等部
〒662-8501
住所 兵庫県西宮市上ヶ原

院長メッセージ

「冒険」と家族の絆

関西学院 院長
ルース・M・グルーベル



私には、夫と二人の息子がいます。長男が十四歳の時、父親とよく喧嘩をするようになりました。それぞれが自分正しいと主張して譲らず、家族としてお互いに愛情を持っているはずなのですが、次第に二人の仲は悪くなっていききました。ちょうどそんな時期、私が二年間広島へ留学することが決まり、せわさくの機会なので家族そろって日本へ行くことになりました。私は子供の頃十五年間日本にいましたので、第二の故郷へ戻るような期待と喜びがありました。夫と息子二人にとっては未知の世界で、不安や好奇心など複雑な気持ちがあったようです。次男は現地の国際学校に入学しましたが、その学校には中学三年生以上のクラスがなかったため、長男はアメリカの学校から教材を持って行き、家で勉強をしました。二日中家にいるのも良くないので、父親と一緒に日本語の授業を受けることになり、週に三、四回、Y.M.C.Aや市が提供する日本語クラスに二人で通いました。日本語クラスの帰りには、二人で毎回違うお店でお昼を食べたり、回り道をしたり、「冒険」気分が広がりました。親しんでいました。予想通り、まだ若い息子は父親よりかなり速いスピードで日本語

第一回

同窓会総会 開かれる



さる三月七日(土)、午後五時から神戸のクラウンプラザホテルで第10回の関西学院高等部同窓会総会が盛大に行われた。同窓会総会には、昭和二十

四年卒業の第二期生から、平成十六年卒業の第五十六期生までの高等部卒業生約千二百名、学院関係者など約二千名、高等部ご退職の教員十七名、そして高等部の現役教員約三十五名が参加し、会場は超満員となった。

司会は、朝日放送のアナウンサー、戸石伸泰氏(二十七期生)が務められ、高等部グリークラブ、吹奏楽部の迫力ある演奏で幕を開けた。まず、お亡くなりになら

まで送ってくれました。もともと二人はゲームや漫画、アニメが好きだったので、早速、日本のテレビや本屋で面白いものを探していききました。わからない字や言葉が沢山あったので、二人は生懸命ひらがなやカタカナを勉強し、辞書を引ながら「ドラゴンボール」や「筋肉人」を楽しみました。二人のおかげで、私もテレビゲームの専門用語を知ることができました。

その結果、約一割にあたる千二百名の同窓生が、外国からもふくめ全国各地から第一回総会に集まってきた。

五月十六日(土)、兵庫県内の海外渡航歴のない高校生が新型インフルエンザに感染していることが確認された。まず、神戸第一学区の学校の休校が決定され、続いて兵庫県より県内の全学校の休校が要請された。十七日(日)、高等部でも十八日(月)から一週間の休校を決定した。予定されていた中間テスト、英語力判定テストは延期された。

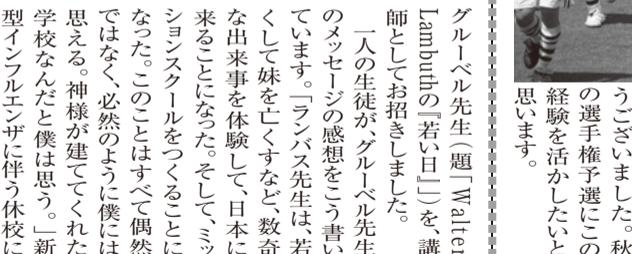


その結果、約一割にあたる千二百名の同窓生が、外国からもふくめ全国各地から第一回総会に集まってきた。会の最後は「空の翼」を全員で合唱し締めくくった。次回の総会は五年後に行われる予定である。高等部同窓会の今

サッカー部

42年ぶり
総体決勝へ
近畿大会では3位に!

勝利し、四十二年ぶりに決勝へ進出した。全国大会出場をかけた決勝は六月十日(水)、淡路のアス、五色メイングランドで、神戸科学技術高校と行われ、当日はあいにくの雨と強風で厳しいコンディションでしたが、キャプテンを中心に積極的の守り、速い攻撃を仕掛けることができました。序盤にセットプレーで失点しましたが、後半森岡のドリブルからの得点で追いつき、再びリードされたが、終盤中田のフリーキックで得点し追いつき延長戦まで戦いました。



しかし、延長前半に追加点を許し、惜しくも準優勝となりました。全国大会は逃したものの、六月二十七日より滋賀で行われた近畿大会に出場し、初戦近大和歌山に五―一で勝利し、二回戦・興国に〇―〇(P.K五―四)で競り勝ち、準決勝は大阪桐蔭に二―三と敗れましたが近畿大会は三位となりました。

新型インフルエンザで一週間休校に

五月十六日(土)、兵庫県内の海外渡航歴のない高校生が新型インフルエンザに感染していることが確認された。まず、神戸第一学区の学校の休校が決定され、続いて兵庫県より県内の全学校の休校が要請された。十七日(日)、高等部でも十八日(月)から一週間の休校を決定した。予定されていた中間テスト、英語力判定テストは延期された。

総体予選、近畿大会と多くの皆様に応援いただきありがとうございました。秋の選手権予選はこの経験を活かしたいと思えます。

春季宗教運動

建学の精神をテーマに

高等部の春の宗教運動は、六月一日(月)から週に、「建学の精神」をテーマに開かれました。高二学年礼拝に田淵結先生(題「関西学院という学校」)、高三学年礼拝に樋口進先生(題「仕える者」)、高学年礼拝に神田健次先生(題「関西学院に流れる「風」」)、全校礼拝にルースM

ミツバチがいらないのだそうである。農水省によれば昨年から今年にかけて五千以上の群れが消失しているらしい。これはスイカやイチゴを受精させる農家にとっては大打撃なのだそう。ミツバチ不足群れの消滅は日本だけでなく、オーストラリア、アメリカと全世界規模で起きている。

いづれも原因がはつきりしないのだが、福岡伸一氏によれば、受粉の効率を高めるためのハチの品種改良による極端な均一化がこのことを起りやすくしているらしい。品種の均一化が進むと、同じ病気で複数から生物は一つの種族でもいらいら(〇―〇(P.K五―四))で競り勝ち、準決勝は大阪桐蔭に二―三と敗れましたが近畿大会は三位となりました。

生物学の多様性と呼ばれるそのシステムは、たとえば教育の世界にもあてはまる。学校というものは本来いろいろな教育理念があり、そこにはいろいろな生徒がやってくる、いろいろな学びを経験していく。

そういつた知的環境の多様な水準を支えてきたのである。だが、いま我々の周囲にある声は、効率を高めるための均一化された教育システムを求めらるものばかりだ。

教育には本来均一化になじまない部分がある。我々が頑固なまでに礼拝を守り、授業にこだわり、部活動や自治活動に力を入れるのは、種の絶滅を恐れているからなのかもしれない。

村上春樹氏は書く。店にはたくさんの客がやって来るとは、必然のように僕には思えない。神様が建ててくれた学校なんだと僕は思う。「新たな来よう」と思ってくればそれでいい。十人のうち一人がリーダーになってくれれば、経営は成り立つていく。

「走る」という語るときに、貴重な時となりました。

今年もやりました 春の子ども会

委員長 3F 中村知齊



四月二十九日(水祝)、関西学院を会場とし、春の子ども会を開催いたしました。例年通り神戸女学院高等学校との合同行事として、五つの養護施設・母子支援施設から六十名の子どもが参加しました。それにグループリーダー・当日スタッフ、そして本部スタッフや先生方を加えて、今年度も約二〇〇名が関わる大規模なものととなりました。

学友会総会終了

副会長 栗田康司

今年の学友会総会は、新型インフルエンザの影響で学校が休校となり、例年とは違い六月二十三日(火)に行われ、役員会から昨年の業績報告及び今年度の活動方針の確認と、昨年度の決算及び今年度の予算説明の会計報告がなされたのち、今年度の議案審議で、活発な討議がなされた。今年度の議案

は以下の二つであった。
第一号議案 『樹脂シューズの使用許可』
第二号議案 『二日のテスト数を最大二教科までにする』
この二つがクラス委員会から上がってきたものである。
まず、第一号議案については、過去に幾度か議案にあげられたサンダルの使用許可とは違いクロックス社製のもののような樹脂シューズの使用許可である。また、討議の中で生徒から「かかとの留め具をしかりとめて履く規則を設けたほうがいい」と「ランドの体育では履かないようにしよう」という意見から、「(二)の規則を原案に加えて修正案とした。他にも「学校にはふさわしくないと思う」などの冷静な意見もたくさん



グルーブリーダー・当日スタッフとして当日参加してくれた人、サポートしていただいた先生方には感謝の思い一杯です。そして何よりも、私を支えてこの素晴らしい二〇〇九年度春の子ども会を創りあげた本部スタッフの一人ひとりに感謝します。

春休み、例年のごとく我々七人の学友会役員は千刈キャンパスで合宿を行った。そこでは、今年一年間の方針や学友会行事について二日中会議をしていった。何より時間がかかったのがスローガン決めであった。何しろこの二年の活動の方向を決める大切なスローガン、しかもこの役員会の考えや思いが学友会員に効果的に伝わるものでなければならぬ。皆の気合が入るだけに主張がぶつかり合う。喧嘩騒ぎ(ごうごう)やどてるうちに夜も更けていく……結局朝方まで話し合ってきた今年度の学友会スローガンは、「意思の加速、君の納得できるゴールへ」だ。

文化総合研究サークル
さらに研究を進める
3F 内藤昌宗

我々文化総合研究サークルは日曜日を除き、週六回活動をおこなっている。活動内容としては数学研究とプログラミングが主で、特に数学研究は海外からも多くの評価を得ている。静かに集中して活動をするときもあれば団欒で二日が終わってしまうときもあつたりと、毎日楽しくやっています。今年度に入ってから業績では二〇〇九年カナダ科学コンテスト(The Canada Wide Virtual Science Fair)で

2009年学友会 スローガン 意思の加速 ~君の納得できるゴールへ~

「意思の加速、君の納得できるゴールへ」の「意思」という言葉には、そのような過去の先輩から受け継がれてきた思い、そして、我々の決めたスローガン、今年一年間の方針や学友会行事について二日中会議をしていった。何より時間がかかったのがスローガン決めであった。何しろこの二年の活動の方向を決める大切なスローガン、しかもこの役員会の考えや思いが学友会員に効果的に伝わるものでなければならぬ。皆の気合が入るだけに主張がぶつかり合う。喧嘩騒ぎ(ごうごう)やどてるうちに夜も更けていく……結局朝方まで話し合ってきた今年度の学友会スローガンは、「意思の加速、君の納得できるゴールへ」だ。

今年度の「リーダー研修会」は五月二日に実施された。冒頭に副委員長三年G組宮崎君からクラス委員の役割と責任の説明。引き続き三年E組濱田委員長の司会のもと、研修とレクリエーションが行われた。まずは「クイズクラスネア」と称して、クラス委員としての常識と応用力を問う問題を各自が解いた。続いて三学

年がクラス毎にわかれ、ブレインストーミングとして文化祭の新企画が考えられないかどうかを検討した。今までの文化祭として、三学年が一体となることができる企画がないかも考えた。三年生がリーダーとなつて、まだ慣れていない、年文化祭の話は早すぎだと考え、二年生も交えて新しい企画を作りたいという思いが、必要になります。今年度の文化祭の話を早すぎだと考え、二年生も交えて新しい企画を作りたいという思いが、必要になります。今年度の文化祭の話を早すぎだと考え、二年生も交えて新しい企画を作りたいという思いが、必要になります。

今年度の文化祭に向けて
文化祭執行委員長 池田 稜

また、二年生も参加しやすいようにと考えるがあったので、今年は二年生に文化祭のスローガンと同じ「Slash your Color」に決定しました。今年度の文化祭では、高等部の皆さんに「個性」を表現してもらい、それをハジケさせて「意思の加速」へと繋げて行つて欲しいです。例えばクラス企画の旗をスローガンのカラーという言葉を虹の七色をAからG組に割り当ててその色を使ってクラスの個性を出して貰おうと考えています。

協力をお願いし、約二時間でほどの作業を行った。六月八日、いよいよ輸送の日となった。まず段ボール箱つづつ、長旅に耐えるようにビニールシートで包み紐で厳重に縛る。次に日本郵便の方に学校まで来ていただく。箱つづつ重量チェックを受ける。二〇キログラムを超える受け付けてもらえない。それらが日本郵便の赤い車に乗せられるのを見送って、今年のブルキナファソの支援物資郵送の仕事は無事終了した。

「意思の加速、君の納得できるゴールへ」の「意思」という言葉には、そのような過去の先輩から受け継がれてきた思い、そして、我々の決めたスローガン、今年一年間の方針や学友会行事について二日中会議をしていった。何より時間がかかったのがスローガン決めであった。何しろこの二年の活動の方向を決める大切なスローガン、しかもこの役員会の考えや思いが学友会員に効果的に伝わるものでなければならぬ。皆の気合が入るだけに主張がぶつかり合う。喧嘩騒ぎ(ごうごう)やどてるうちに夜も更けていく……結局朝方まで話し合ってきた今年度の学友会スローガンは、「意思の加速、君の納得できるゴールへ」だ。

